



中野市プレスリリース 2025年12月9日

映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」上映会

市民の皆さんにろう者および手話言語について理解を広げるため、映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」の上映会を開催します。

- 1 日時 2026年3月14日(土)
【第1部】午前10時30分
【第2部】午後1時30分
- 2 会場 市民会館ソソラホール
- 3 鑑賞券 【前売券】1,200円（一般、シニア、大学生のみ）
・販売開始：12月15日(月)
・販売場所：市民会館ソソラホール、中野市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村の社会福祉協議会（全5カ所）
【当日券】一般・シニア 1,500円、大学生 1,300円、小中高生 800円（小学生未満無料）
- 4 その他 詳細は添付のチラシをご覧ください

詳しくは、下記担当課へお問い合わせください。

中野市健康福祉部福祉課障がい福祉係
(課長) 江本 (担当) 武田、小林
電話 0269-22-2111 (内線 307)
E-mail fukushi@city.nakano.nagano.jp



親子の物語が、そしてひとりのコーダの心の軌跡が、点描のように紡がれていく——。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、「きこえる世界」と「きこえない世界」を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出し、いく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。

*コーダ：きこえない、またはきこえにくい親を持つ聴者の子供

母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大に

っては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持って余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが……。



中野市誕生20周年記念事業
映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」中野市上映会

2026年 **3月14日(土)** ソソラホール 大ホール (中野市三好町1-3-12)

① **10:30** (9:30開場) ② **13:30** (13:00開場)

満席の際は、次の回にお回り
いただくことができます

前売券 一般・シニア・大学生 **1200円**

当日券 一般・シニア 1500円 大学生 1300円 小中高校生 800円 (小学生未満無料)

【前売券取扱所】ソソラホール、中野市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村の各社会福祉協議会

【主催】映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」中野市上映実行委員会

【構成団体】中野市聴覚障害者協会、中野市身体障がい者福祉協会、中野手話サークル、中野市社会福祉協議会、山ノ内町社会福祉協議会、木島平村社会福祉協議会、野沢温泉村社会福祉協議会、信州中野商工会議所、中野市農業協同組合、中野広域シルバー人材センター、中野ライオンズクラブ、中野ロータリークラブ、中野青年会議所、中高医師会、中高歯科医師会、中高薬剤師会、中野市民生児童委員協議会、中野市シニアクラブ連合会、中野市ボランティア連絡協議会、中野市議会、中野市

【共催】中野市聴覚障害者協会、中野市、信濃毎日新聞社

【後援】中野市教育委員会

【協力】(株)岩野商会 (ソソラホール指定管理者)

【お問合せ】中野市福祉課障がい福祉係 Tel:0269-22-2111 (内線307)

